

地元小学生30名が参加

一般国道229号 鎧橋 現場見学会



自分たちが書いた
銘板も披露

10月29日(火)、共和町で、一般国道229号 鎧(よろい)橋の工事現場の見学会が行われました。

鎧橋の工事は、一般国道229号積丹防災事業のうちの1つで、堀株川に架かる旧鎧橋を新橋に架け替えるために平成21年度より行われており、今年度供用開始予定です。この見学会は、共和町立北辰小学校の4, 5年生を対象に、現在工事中の鎧橋について、その工事の様子を見学して、地元の橋に対する理解を深めてもらうために行ったものです。

小学校から徒歩で現地に到着した児童達は、岩内道路事務所の職員から鎧橋についての説明や橋の役割や世界のめずらしい橋の紹介についての話を聞いた後、コンクリートポンプ車によるコンクリート打設を見学しました。これは、橋の高欄の基礎となる部分にコンクリートを流し込む作業で、施工業者の説明を聞きながら、どろどろのコンクリートがきれいに型に収まる様子を、児童達は興味深げに眺めていました。



ヘルメットをかぶって準備OK



鎧橋についての説明を聞きます



橋の役割や世界のめずらしい橋の紹介についてパネルを見ながら説明を聞きます



コンクリートを型に流し込む様子を見学



ドボドボとコンクリートが出てくる様子に「わぁっ!」と歓声が上がっていました



岩内道路事務所長より銘板を手渡されます



銘板をふたりで持ちます
重いです



児童からお礼の言葉をいただきました



鎧 橋

よろいはし

平成25年1月完成

堀 株 川

「これが児童達の書いた銘板の文字です
「よろいはし」ではなく「よろいはし」です

コンクリート打設見学後、北辰小学校の児童が文字を書いた、橋の銘板4枚の披露が行われました。岩内道路事務所長が「橋は何十年も持つものです。みなさんがお父さん、お母さんになり、おじいちゃん、おばあちゃんになった時に、この銘板がいい思い出になればと思います。」と述べ、それぞれの銘板を児童に手渡しました。銘板を受け取った児童達は「重い!」とびっくりしていました。

銘板は1ヶ月ほど小学校にて保管して、児童のみなさんに見てもらった後、橋に取り付けられます。